

## 非破壊検査協会 2025 年度秋季講演大会 参加報告書 岩本直大

11 月 20 日から 2 日間、福岡県北九州市で開催された 2025 年度秋季講演大会に参加しました。

20 日は夕方の懇親会から参加しました。懇親会の会場はホテルの最上階で、ちょうど夕方というもあり、美しい眺望を楽しみながら美味しいお酒と会食を満喫しました。他の学生や企業の方と研究の内容や会社の話など、普段は伺う機会のないような事柄まで、様々なお話をじっくりと拝聴し、大変実りのある時間となりました。懇親会の中で、小倉祇園太鼓の演奏があり、手の動きが独特で非常に迫力がありました。演奏の間に太鼓を叩く体験をさせていただき、手の動きを真似してみても、やはり難しかったです。楽しく演奏をさせていただきました。懇親会の後は少し時間があつたので、門司港という場所に行きました。九州と本州の間に位置する港町で、町全体に多くのレトロな洋風建築があり、海外に来たような印象を受けました。夜景などを楽しみました。

21 日は他の学生等の発表を聴講し、自身の研究内容についても発表を行いました。「フェーズドアレイ超音波法」や「ガイド波」のセッションでの発表に参加し、自身に身近な内容でありながらも、知らない話もあり非常に勉強になりました。

今回の学会参加により、北九州を楽しむとともに、研究分野に対する広い知見を得ることができました。これらの学びを通じて、これからの研究に精進していきます。

